

## 韓国

### 労働者階級の連帯・団結で帝国主義戦争同盟に打ち勝とう！

#### 労働社会科学研究所運営委員会

今年も欠かすことなく十月社会主義大革命記念集会を組織・開催する日本の労働者同志たちに連帯の挨拶を送ります。

社会主義大革命一〇六周年を迎えるいま、わたしたち東北アジアの労働者人民は、かつてないほど切実にソ連邦の解体によって忘却を余儀なくされた十月革命の意義を反芻しつつ、その意義を現代によみがえらせる覚悟を固めなければならないと思います。資本主義的生産の全般的危機が激しくなるにつれ、なによりもとくにここ東北アジアの地に、あらたな大戦の危険性が高まっているからです。

最近の出来事だけとってみても、核武装が可能な米軍の戦略爆撃機B-52が先月十七日に「ソウルADEX 二〇二三」の開幕式に参加し、韓国空軍と連合空中訓練を行なったのにつぎ、二十二日には韓・米空軍と日本の海上自衛隊が韓・日防空識別圏(ADIZ)重複区域で史上初の韓・米・日空中訓練を実施しました。

もちろん、米帝のライバルとして登場した中国と朝鮮人民共和国を狙って、さる八月にキャンプデービッドで結んだ韓・米・日の帝国主義戦争同盟の誇示であり、戦争挑発行為です。

この挑発が、もし実際の戦争に飛び火でもしたらどうなるのでしょうか？ 核兵器時代の現在、その結果は決してどちらか一方の側の勝利の問題には終わらないでしょう。かならずや東北アジアの人命の事実上の全滅にゆきつき、さらには人類の事実上の全滅までも排除することはできないのではないのでしょうか？

このような悲劇的・絶望的な事態は、誰がいかにして阻止すべきでしょうか？ かれら独占資本・帝国主義によって搾取・抑圧されている労働者・人民が、革命をつうじて阻止するよりほかはないのではないのでしょうか？ 労働者階級は、その革命を主導しなければなりません。

労働者階級が築きあげる社会主義こそ、戦争のない友愛と平和の体制であることは、十月社会主義大革命の成果であるソ連邦が解体されるや、ソ連邦のなかで友愛と平和を謳歌していた国家間で繰り広げられてきた戦争、とりわけあのウクライナ戦争が逆説的に立証しているのではないのでしょうか？ (ソ連邦解体後、米帝とNATOなどが行なったイラク、リビアなどの蹂躪等々は、いまさらに言うまでもないことでしょう。)

韓・米・日の独占資本・帝国主義は、いっぽうでは帝国主義戦争・経済同盟をつうじて、そしてもういっぽうでは労働者人民の間に対立的・排他的な国家主義・民族主義・人種主義などを煽りながら、搾取・抑圧体制の維持を画策しており、戦争の危険性を高めています。韓・日間にはとりわけ不幸な過去史があるため、かれらのこのような分裂・離間策動がよりいっそう効力を発揮しています。

ここに、わたしたち韓・日労働者人民は、かれらの卑劣な、陰に陽に繰り広げられる分裂・離間策動をとくに意識的に拒否して、両国労働者人民の連帯・団結を強化する必要があります。そして帝国主義戦争同盟に打ち勝ち、社会主義革命へと前進しなければなりません。

これらすべての過程を主導するのは、当然にも両国の労働者階級、とりわけ先進的労働者たちです。十月社会主義革命一〇六周年を迎えた現在、韓・日労働者階級、とりわけその先進的分子たちは、このような歴史的任務を再確認し、その任務の遂行を誓い合うことこそ、なによりも重要なのです。

万国の労働者よ、団結せよ！

二〇二三年十一月

ソウルより

【訳＝土松克典】